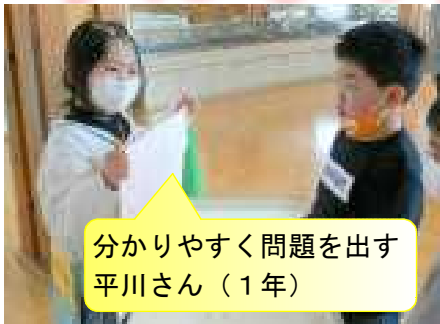


あさな!

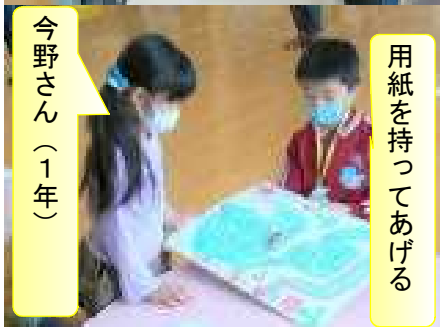
令和3年1月29日(金) No.35

文責：矢田部 瑞穂

みんなの入学を待っています



分かりやすく問題を出す
平川さん(1年)



今野さん(1年)

用紙を持ってあげる



一緒に楽しんであげる

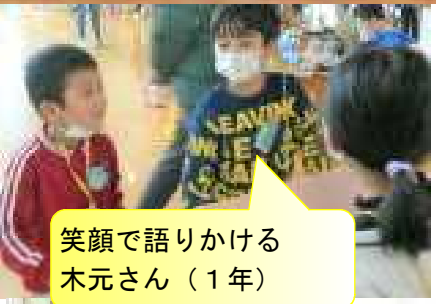
平川さん(1年)

1月22日(金)、1・2年生が、来年度入学予定の年長児を招待して「なかよし交流会」を開きました。

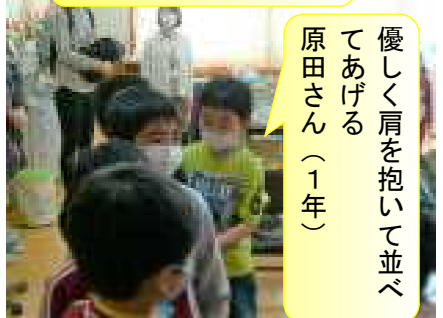
令和3年度入学予定者は8人。1・2年生は、ボウリングや迷路など、園児が喜んでくれることを想像して遊びを考え、心を込めて、一生懸命おもてなしをしました。言葉のかけ方や表情などを見ていると、2年生はもちろん、1年生も本当に大きく成長していると感じ、とてもうれしく思いました。

年長さんも一人一人とても立派に挨拶をしたりお礼を言ったりできました。みんなが笑顔になるととてもすてきな交流会でした。

優しく寄り添って話を聞く
金谷さん(2年)



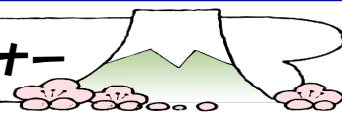
笑顔で語りかける
木元さん(1年)



優しく肩を抱いて並べてあげる
原田さん(1年)



瞳かがやく浅小っ子コーナー



平川(1年)

読み聞かせボランティアの方をお招きして充実した読書タイム。1年生の教室では、大山さんが「冬を楽しく」というメッセージが込められたお話を2作読んでくださった。読み終えた時、3分ほど時間が残った。「もっと読んで!」とお願いする子どもたち。「もうないの。ごめんね。」と、大山さん。そこで私が「絵本の感想を話してもらおうか。」と言うと、「えー。」と不満顔。その時、平川さんがスッと手を挙げた。そして、言葉を選んで感想発表。翌日、平川さんにその時の行動を褒め、「どんな大人になりたいか」と尋ねてみた。照れた顔をして私の耳元まで近づき、「人の気持ちを考えられる大人」と。その言葉と読書タイムの行動がぴったり一致し、心から感動した。

縦わり班対抗「ドッジボール大会」

金野(左)清水(右)のジャンプボールからスタート!



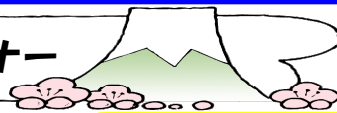
1月27日(水)、健康委員会主催の「校内ドッジボール大会」が行われました。これまでは、長縄跳びを行っていましたが、今年度初めてドッジボールに挑戦しました。1年生から6年生まで一緒のコートに入りましたが、低学年がおびえて泣き出すこともなく、高学年が勝敗にこだわって熱くなりすぎることなく、みんなが楽しむことができた大会でした。その大きな要因は、6年生が、「まだ投げていない人いないか」と確認しながら、みんなにボールが行き渡るよう配慮してくれたことにあります。またまた、浅小っ子のよさを見つけた時間でした。

6年生が選んだ各チームのMVP!

今大会成功の立役者である6年生に、大会を振り返って、特に印象に残った「名選手」を「各チームのMVP!」として推薦してもらいました。選ばれたのは、やはり、次の時代を引き継ぐ5年生でした。(推薦文責:A金野・B清水・C保坂・D平川)



瞳かがやく浅小っ子コーナー



チームA：木元



積極的にボールに向かい、当てられても笑顔でプレーし、チームを盛り上げた! 必死のボールを呼ぶ声の出し方も、みんなを鼓舞した!



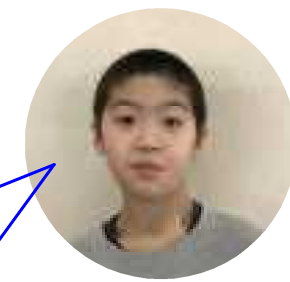
意図的にボールに当たり外野に行くことで、内野とのキャッチボールができる。そんなテクニックがあることを平川さんから学んだ! 驚愕のプレー!

チームC：平川

チームB：武田



ひたすらルーズボールを拾い、低学年の子どもたちの目線に合わせて体を低くし、ボールに触ったかを確認し、投げさせた。だからみんなが楽しめた。



とにかく、すばしっこい! その運動能力に驚く。積極的に攻めて攻めて攻めまくっていた。それが、闘志となってチーム全体の士気を挙げた!

チームD：保坂